

社会医療法人三和会永山病院における VRE 保菌者の現況と 今後の対応について（第 2 報）

平成 29 年 6 月より当院にて対応してまいりましたバンコマイシン耐性腸球菌（VRE）アウトブレイクについてご報告申し上げます。

現在、当院は大阪府泉佐野保健所、市立貝塚病院、近畿大学医学部附属病院、大阪健康安全基盤研究所、国立感染症研究所の協力を得て、VRE の拡散防止に努めております。平成 30 年 2 月からは国立感染症疫学センターの感染症実地疫学専門家養成コース（FETP）チームが、当院での VRE アウトブレイクの感染源、感染経路、リスク因子を明らかにする目的で疫学調査を実施し、具体的な感染対策についての提言や助言を頂いています。

これまでに 7 回の全棟検査や入院時スクリーニング検査等を実施しております。

新しく VRE 陽性の患者さまが確認された病棟では、環境清掃や標準予防策＋接触予防策を徹底するとともに、感染対策の見直しに努力しています。具体的には、VRE 陽性の患者さまはコホーティング隔離対応するとともに、VRE 陽性の患者さまを担当させていただく病棟の看護師・看護助手は専属とするように努めています。

患者さま並びにご来院の皆様には、ご心配とご迷惑をおかけし、大変恐縮ではございますが、出来るだけご面会はお控えいただき、手指衛生を徹底して頂けますようご理解とご協力をお願い致します。

経過につきましては、地域の皆様方にご安心頂くため、永山病院のホームページにおいて報告致します。

平成 30 年 6 月 26 日

社会医療法人 永山病院 病院長 高橋 均